

令和6年度

朝霞市ふれあい推進事業

第3回推進委員会

令和7年2月18日（火）午後4時から

朝霞市民会館 201会議室

朝霞市教育委員会

令和6年度朝霞市ふれあい推進事業第3回推進委員会

資料

令和6年度朝霞市ふれあい推進事業推進委員会名簿・・・・・・・・ P 2

令和6年度朝霞市ふれあい推進事業 決算・・・・・・・・ P 3

実施報告書

- ① 第一中学校区における事業について・・・・・・・・ P 4
- ② 第二中学校区における事業について・・・・・・・・ P 7
- ③ 第三中学校区における事業について・・・・・・・・ P 10
- ④ 第四中学校区における事業について・・・・・・・・ P 11
- ⑤ 第五中学校区における事業について・・・・・・・・ P 14

令和6年度朝霞市ふれあい推進事業推進委員会名簿（敬称略）

	所属団体	役職名	氏名	備 考（◎委員長 ○副委員長）
1	自治会連合会	会 長	松 尾 哲	◎委員長
2	子ども会連合会	会 長	渡 邊 俊 夫	○副委員長
3	シニアクラブ連合会	会 長	—	
4	文化協会	会 長	平 塚 誠	
5	スポーツ協会	会 長	石 原 茂	
6	レクリエーション協会	理 事	栗 原 清 年	
7	青少年育成市民会議	副会長	金 子 智恵子	
8	スポーツ少年団	本部長	松 井 弘	
9	西部地区民生委員児童委員協議会	副会長	坂 本 知 里	
10	商工会	理 事	柏 谷 智 大	
11	東洋大学	事務課長	—	
12	社会福祉協議会	常務理事	渡 辺 淳 史	
13	青少年相談員協議会	書 記	富 樫 瞭 詠	
14	保護司会朝霞支部	書記	小日向 一明	
15	朝霞警察署	生活安全課長代理	岩 上 和 弘	
16	県立朝霞高等学校	校 長	久 住 毅	
17	県立朝霞西高等学校	校 長	原 浩 明	
18	朝霞第一中学校区実行委員会	委員長	吉 山 隼 人	朝霞第六小学校 PTA会長
19	朝霞第二中学校区実行委員会	委員長	相 澤 敦	朝霞第二小学校 PTA会長
20	朝霞第三中学校区実行委員会	委員長	生 方 恵 美	朝霞第十小学校 子どものための会 会長
21	朝霞第四中学校区実行委員会	委員長	渡 邊 貞 稔	朝霞第八小学校 保護者と先生の会 会長
22	朝霞第五中学校区実行委員会	委員長	田 中 朱 美	朝霞第三小学校 PTA会長
23	朝霞第一中学校区事務局	事務局長	田 邊 雅 也	朝霞第六小学校長
24	朝霞第二中学校区事務局	事務局長	宮 腰 高 子	朝霞第二小学校長
25	朝霞第三中学校区事務局	事務局長	岩 崎 英 雄	朝霞第十小学校長
26	朝霞第四中学校区事務局	事務局長	田 中 誠	朝霞第八小学校長
27	朝霞第五中学校区事務局	事務局長	松 本 欣 巳	朝霞第三小学校長

事務局（朝霞市教育委員会等）

1	生涯学習部長	奥 山 雄三郎	事務局長
2	学校教育部長	小 島 孝 之	
3	こども・健康部こども未来課長	高 橋 賢一郎	
4	生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ課長	小笠原 ミツエ	
5	学校教育部教育指導課長	横 瀬 修 克	
6	生涯学習部生涯学習・スポーツ課課長補佐	高 橋 安希子	
7	学校教育部教育指導課指導主事	三 宅 太 陽	

令和6年度 朝霞市ふれあい推進事業 決算（補助金25万円分）

	一中校区	二中校区	三中校区	四中校区	五中校区	合計
報償費 (講師謝金等)	0	0	78,100	0	187,770	265,870
旅費	0	0	0	0	13,548	13,548
需用費 (消耗品費、印刷費等)	222,670	128,022	163,500	222,714	39,432	776,338
役務費 (郵便、保険料)	27,330	24,532	8,400	26,386	9,250	95,898
使用料・賃借料	0	0	0	900	0	900
その他	0	0	0	0	0	0
合計	250,000	152,554	250,000	250,000	250,000	1,152,554

様式第7号

実 施 報 告 書

(1枚目/全1枚中)

- 1 中学校区 朝霞第一中学校区
2 実行委員長 氏名：吉山 隼人
3 事務局 朝霞市立朝霞第第六小学校
4 取組の名称 ～朝霞一中中学校区～ ふれあいまつり
5 実施日(期間) 令和6年11月16日(土)

6 実施場所 朝霞市立第一中学校敷地内

7 取組の概要 ※記録写真(デジカメのデータでも可)を添付願います

- (1) 起震車を使用した地震体験(説明・体験)
(2) 煙体験(説明・体験)
(3) 消火器取扱い(説明・体験)
(4) 毛布等を使用した搬送法(説明・体験)
(5) パンタグラフジャッキ等を使用した救出法(展示)
(6) 車両展示
(7) 応急手当(説明・体験)

8 成果と課題

(成果)

校区内の各小・中学校及び町内会、各校PTAと早い段階から連携し、相互の交流や地域のふれあいを深めることができ、社会総掛かりの意識を構築することができた。児童・生徒が防災に関する事業を体験することにより、防災知識の向上に寄与できた。

(課題)

参加予定人数を大幅に下回る結果となってしまった。人気があるブースに児童が集中する傾向があり、全ての防災ブースを周らずに帰ってしまう児童が出てしまった。各ブースの導線をしっかりと想定する必要があった。

9 参加総人数 合計 570名 (①+②)

①一般参加者 (一般小計 491名)

(内訳) 小学生 186名、中学生 30名、高校生 0名、その他 275名

②役員 (役員小計 79名)

(内訳) 学校関係者 15名、PTA等関係者 30名、地域代表者等 24名、民生委員児童委員代表者 6名、教育委員会 2名、
その他(議員) 2名

※ 事業の内容が複数ある場合は、内容毎に実施報告書を作成すること。





実施報告書

(1枚目/全3枚中)

- 1 中学校区 朝霞第二中学校区
- 2 実行委員長 氏名：相澤 敦
- 3 事務局 朝霞市立朝霞第二小学校
- 4 取組の名称 「朝霞第二中学校区ふれあいフェスティバル」
- 5 実施日(期間) 令和 6年 11月 2日(土)
- 6 実施場所 朝霞市立朝霞第二中学校体育館・グラウンド他

7 取組の概要

① 地域の各種団体が日々の成果を発表する場

- 二中吹奏楽部演奏
- 二中鳴子演舞
- 二小鳴子演舞
- 七小ダンス発表
- 九小ダンス発表

② 二中部活動見学

- サッカー部・陸上部・女子ソフトボール部・女子硬式テニス部・男子卓球部
女子バスケットボール部・柔道部・剣道部

③ 模擬店出店及び展示・体験

- 東町内会：フランクフルト・ポップコーン・ドリンク販売
- 朝霞第二中学校：射的
- 朝霞第二小学校：ヨーヨー釣り
- 朝霞第七小学校：当てくじ
- 朝霞第九小学校：ストラックアウト
- カインズ：ワークショップ「木製ガーランドのデコレーション」
- 感謝プロジェクト：鉄棒逆上がりチャレンジ

8 成果と課題

(1) 成果：

本年度は「ふれあい」をテーマにし、2部制での開催を予定していた。

第一部は体育館内でのステージ発表。

各校からダンスや鳴子等、ステージ発表を行うことで、他校の生徒の様子や頑張る姿を応援し、楽しむ会。

第二部は主に校庭を使用した模擬店及び、朝霞第二中学校の部活動見学。

模擬店は各校 PTA、PTA 類似団体及び町内会他、協力団体による遊びや飲食の出店であり、部活動見学は二中に進学する児童が楽しみにしているイベントの一つでもある。

事前に予定していた通り、開催の判断は前日の正午におこなった。

複数の Web サイトを確認した結果、開催日当日は雨天の予報であったため、開催を中止した。

雨天開催できない理由は下記のとおりである。

- ・模擬店が校庭で出店されるため、準備ができない。
- ・二中校区は範囲が広く、雨の中児童が来校することは安全の面で不安がある。

令和6年度 朝霞第二中学校区
(朝霞二中・二小・七小・九小)

ふれあい
フェスティバル

11.2(土) 9:30~12:00
朝霞第二中学校 グラウンド・体育館・第二技術室

部活見学 10:40~

模擬店 10:40 スタート

あそび

食べ物

部活見学

体育館ステージ

二小 鳴子演奏 9:30 スタート
七小 ダンス発表
九小 ダンス発表
二中 鳴子演奏、歌合奏部

その他

朝霞プロジェクト
鉄壁逆上がりチャレンジ
説明：朝霞プロジェクトの活動を発表する
タイムス・ワークショップ
本番ガーランドのデコレーション
場所：第二技術室(1階)

会場案内図

お問い合わせ：朝霞第二中学校事務局 048-461-0042 (受付時間：月～金 9:30~16:50)

(2) 課題：

各団体・学校から寄せられた課題点

<民生委員>

- ・今年は残念ながら参加できなかったが、来年はぜひ参加できるようにしたい。

<感謝プロジェクト>

- ・初めての参加だったが雨で開催できなかったのが残念だった。子供たちがとても楽しみにしていた。二小の鳴子については有志で集まった子供たちが練習し披露できるのをとても楽しみにしていたので、どうにか実施できるよう予備日や雨の対策を課題として挙げさせてほしい。

<九小>

- ・雨天での中止が本当に残念だった。来年は雨天でも開催出来る方法を考えたい。

<二中>

- ・課題は特になし、実行委員の皆さんにお世話になった。今後も何か気になる事があれば連絡ほしい。

<二小>

- ・もっと二中の学生と交流できると、子供たちにとって良い経験になると思った。
- ・幹事校として各校と情報のやり取りを紙で行う事が多かったが、タイムラグや伝えきれない部分があった。今後電子化してスムーズに行えると良いと思った。
- ・ステージ発表の人数と時間配分の割り振りが合っていないような気がした。反省している、次回は見直しが必要。

<七小>※来年度、幹事校としての意見を含む

- ・規模を縮小しても良いから雨天でも開催できるよう、翌日を予備日として確保できないか来年度は検討したい。
- ・コロナ過で中止が続くなか、昨年は九小が開催し盛り上げてくれた。今年は二小がしっかり準備してくれたが開催できなくて残念だった。来年度はどのような形で実施するのか未定だが、九小、二小の良い所、反省点を踏まえ開催したい。民生委員や町内会も懸念点があるようであれば話す機会を設けたいと思う。

9 参加総人数 一 名

実施報告書

(1枚目/全1枚中)

- 1 中学校区 朝霞第三中学校区
- 2 実行委員長 氏名： 生方 恵美
- 3 事務局 朝霞市立朝霞第十小学校
- 4 取組の名称 朝霞第三中学校区 ふれあい推進事業
- 5 実施日(期間) 令和6年11月9日(土)
- 6 実施場所 朝霞市立朝霞第三中学校
- 7 取組の概要 ※記録写真(デジカメのデータでも可)を添付願います

(1) あいさつ運動推進の看板作成活動

- ・「いつでも・どこでも・誰とでも明るい挨拶」を交わせる地域づくりを目指した挨拶運動推進のための看板作り(活動後に設置)

(2) 活動発表・ステージ発表

- ・朝霞第三中学校美術部の活動報告・作品披露
- ・朝霞第三中学校吹奏楽部の演奏
- ・朝霞第三中学校、朝霞第五小学校の鳴子踊り披露
- ・朝霞第十小学校のうたの輪の合唱発表

(3) 朝霞第三中学校の制服リサイクル

(4) 地元のヒーローショーの開催

- ・「キャプテンカロテン」によるショータイム

8 成果と課題

○看板づくりは例年実施していることもあり、スムーズに行うことができた。

(活動時間が限られているため、標語作りで悩む児童がいないよう、事前に各学校から集めたあいさつ標語のサンプルを壁に掲示し、参加者が選んで作成した。)

○各校特色を生かした活動発表・ステージ発表が行われ、観客を大いに楽しませることができた。朝霞第三中学校美術部が5年ぶりに参加するなど、披露する団体が広がったことで、地域の方にもさらに教育活動を理解していただくことができた。

○会場を前日夜から使用できたことで、会場準備に余裕をもって行うことができた。

○古くから設置されている看板を徐々に新しいものに取り替え、効果的に周知できるよう、進めることができた。

○子ども用のおやつを今年度から準備し、参加者に配付することができた。

○ヒーローショーは幼児から大人まで楽しみながら参加できる演出であった。

●内容については、開催の意義も含めて、毎年検討していく必要がある。

9 参加総人数 合計 428名

児童・生徒296名、保護者121名、地域・町内会からの参加11名

様式第7号

実施報告書

(1枚目/全3枚中)

- 1 中学校区 朝霞第 四 中学校区
2 実行委員長 氏名: 渡邊 貞稔
3 事務局 朝霞市立朝霞第 八小 学校
4 取組の名称 第13回 ふれあいまつり
5 実施日(期間) 令和 6 年 10 月 26 日(土)

- 6 実施場所 朝霞第四中学校・朝霞第八小学校

- 7 取組の概要 ※記録写真(デジカメのデータでも可)を添付願います

※別紙参照

「第13回ふれあいまつり」の開催

令和5年度に引き続き、両校の校庭と体育館、また八小は1階の教室を会場として「ふれあいまつり」を開催した。各参加団体は下記の通り。

①地域の参加団体

- 栄町町内会: 模擬店出店〈やきそば〉
- 広沢町内会: 模擬店出店〈カレーライス〉
- 民生委員・児童委員: 折り紙コマ
- NPO法人朝霞ぐらんぱの会: むかし遊び(けん玉、皿回し)

②ステージ発表

- 朝霞西高校によるダンス発表
- 栄町なるこ会「栄華」
- なんくるないさあず

朝霞第八小学校「保護者と先生の会」文化教養担当講座エイサー体験含む

- 有志団体によるステージ発表

③各校保護者による出店

- 四中: 「父母と先生の会」による出店
各部活動(保護者と子ども達含む)を中心とした出店
- 八小: 「保護者と先生の会」による出店
各団体(学校応援団 八枚のはね、103の会、絵本の会ピッピ)による出店
有志保護者による出店

⑤協賛会社

- 日本梱包運輸倉庫株式会社
- 株式会社フタバスポート

(2枚目/全3枚中)

8 成果と課題

・ステージ発表や模擬店の開催を通して、子ども達も〈学校〉という場で非日常的な時間を過ごすことができた。

・学校、保護者、地域の参加団体、子ども達が一体となり、笑顔あふれる「ふれあいまつり」だった。また、運営内では当日だけでなく事前の会議でより安全面に留意するため、意見交換をしたことで、相互的に協力し合う「ふれあい」をより強く感じた。

・参加人数が多いので、特に校舎内を使用する場合は、子ども達の掲示物などもあるので、より安全面への留意が課題となる。

・今年度はお天気にも恵まれ、八小で開催した青空ステージは盛り上がり、混雑時の分散にも繋がったと思われる。しかし、天候次第なので当日まで開催の調整が必要となる。

また、雨天時の動線を考えると（本校区は雨天決行としていることもあり）、運営側と参加者側が体育館出入口や校舎内で過密になることが想定される。

次年度以降への検討課題とする。

9 参加総人数 合計 4,273 名 (①+②)

① 一般参加者 (一般小計 4,052 名)

(内訳) 小学生 1,225 名、中学生 203 名、高校生 2 名、その他 2,622 名

② 役員 (役員小計 221 名)

(内訳) 学校関係者 8 名、PTA等関係者 94 名、地域代表者等 109 名、
民生委員児童委員代表者 2 名、教育委員会 4 名、
その他 4 名

※ 事業の内容が複数ある場合は、内容毎に実施報告書を作成すること。

朝霞第四中学校区

第13回 ふれあいまつり

10月26日(土) 朝霞第四中学校 朝霞第八小学校

延べ参加人数 4,273名

朝霞第四中学校の様子

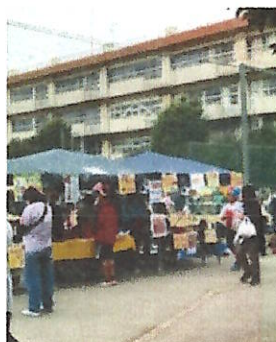
四中では、2,433名の方が参加しました。
外部団体を始め、部活動を中心とした14のブース出店、
8つの団体によるステージ発表も行われました。

地域の参加団体

- 栄町町内会
- 朝霞西高校



ぽぽたん、彩夏ちゃんは
子ども達に大人気でした！
じゃんけん大会も行われ
ました。

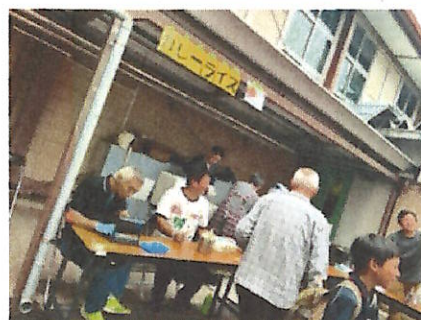


朝霞第八小学校の様子

八小では、1,840名の方が参加しました。
外部団体を始め、八小関係団体など11のブース出店、
9つの団体によるステージ発表も行われました。

地域の参加団体

- 広沢町内会
- NPO法人 朝霞ぐらんぱの会
- 民生委員・児童委員



青空ステージは今年度初の
試みでしたが、お天気にも
恵まれ盛り上がりしました！



総括

八小の校庭を駐輪場として使用しました。
前日準備のライン引きや、当日の見回りは両校の保護者で行いました。
また、ステージ団体は、両校で発表される団体も複数ありました。
来場者の多くの方が、両校を見て回られたようです。

地域の参加団体の方をはじめとする、多くの方々のお陰で今年度
も無事に開催できました。本当にありがとうございました。

協賛会社

- 日本梱包運輸倉庫株式会社
- 株式会社フタバスポーツ

実 施 報 告 書

(1 枚目 / 全 1 枚中)

- 1 中 学 校 区 朝霞第五中学校区
- 2 実行委員長 氏名： 田中 朱美
- 3 事 務 局 朝霞市立朝霞第三小学校
- 4 取組の名称 朝霞第五中学校区ふれあいまつり “fun!fun!fun!”たのしいこといっぱい！
- 5 実施日(期間) 令和6年11月2日(土)
- 6 実施場所 朝霞市立朝霞第三小学校(校舎・校庭・体育館)
- 7 取組の概要 ※記録写真(デジカメのデータでも可)を添付願います
 令和6年11月2日(土)、“**fun!fun!fun!19 たのしいこといっばい!!**”をキャッチフレーズに朝霞第五中学校区のふれあい推進事業である第19回「ふれあいまつり」を開催した。
 = 地域交流イベント =
 ・皿回し、けん玉・ぶんぶんゴマ・ベーゴマ、めんこ・射的・ふれあい動物園
 ・今川焼・焼きそば、ラムネ販売・団子販売・地場産野菜販売・お絵描きせんべい
 ・セブンイレブン出店・特別支援学級手作り品販売・五中吹奏楽演奏
- 8 成果と課題
 ○協力団体も多く工夫しながら開催できた。多くの来場者で賑い、充実したまつりとなった。
 ○第五中学校と第三小学校の特別支援学級の児童生徒が交流し、協力してお店を出店することができ、体験活動として有意義なものとなった。五中吹奏楽部の演奏も多くの方に聴いていただき、小・中連携の良い機会ともなっている。
 ●雨天ということもあり場所が限られてしまい混雑が見られた。今後、まつりの運営の仕方も含め改善していけるようにしたい。
- 9 参加総人数 合計 1,615 名 (①+②)
 ① 一般参加者 (一般小計 1,447 名)
 (内訳) 小学生 696 名、中学生 50 名、小学校保護者 651 名、
 その他 50 名
 ② 役 員 (役員小計 168 名)
 (内訳) 学校関係者 35 名、PTA等関係者 26 名、地域代表者等 100
 名、民生委員児童委員代表者 2 名、教育委員会等 5 名

※ 事業の内容が複数ある場合は、内容毎に実施報告書を作成すること。